



東地中海地域ニュース

**トルコ：タラバーニ・イラク大統領のトルコ訪問 <参考>トルコ越境関連：2007年末以降
(3月9-10日付 Turkey Times 他現地各紙)**

タラバーニ・イラク大統領が7日、首都アンカラでギュル大統領と首脳会談を行った。トルコ軍がイラク北部に越境してクルド勢力を攻撃して一週間が経つ。タラバーニ大統領はエネルギー、経済、政治、文化の多方面でトルコとの関係強化を図りたいとの意向を示し、両国は北イラクにおける安全保障面でも関係を強化することで一致した。

1. タラバーニ大統領はエルドアン首相とも会談した。同大統領は、会談でトルコ側に対し、北イラク地方勢力との対話を強く求めた。トルコ国内（トルコ国軍）には、クルドの独立化を促しかねない北イラク地方勢力との公的関係の強化には未だ抵抗があり、トルコ側の今後のプロセスに関する姿勢は未だ慎重であるが、消息筋は、アンカラ、ワシントン、バグダード、エルビルを含めた場所で、何らかの協議の枠組が設定されることになると述べた。
2. タラバーニ大統領顧問のアザード・ジャンディヤーニは、来週にもトルコ政府関係者がバグダードを訪問し、ネチルヴァン・バルザーニ北イラク地方政府首相と会談することになると述べた。
3. タラバーニ大統領は、対外経済委員会（DEIK:各国との二国間経済委員会等を組織する団体）関係者との会合に出席した。タラバーニ大統領は、「両国間の貿易規模は以前の220億ドルから500億ドルに拡大した。イラク国内ではクルディスタン、バグダード、南部を含めて外国投資受入の用意ができている」と述べた。

<参考>

トルコからの報道によれば、タラバーニ大統領が対外経済委員会で「クルディスタン」の呼称を使用したことに対し、クルドの独立を暗示する同呼称にアレルギーを有するトルコ国内では反発が出ており、また同会合に出席したチチェッキ副首相も表情で不快感を示したとされる。

また、10日の当地報道によれば、北イラクへの越境攻撃を巡り国軍と野党との間で再び緊張が生じている模様。越境攻撃を巡っては4日、野党の共和人民党（CHP）及び民族主義行動党（MHP）が北イラクからの早期撤退を求めていたこと、撤退後、米国からの圧力による撤退を示唆するなどして国軍と野党の間に緊張が生じていた。

トルコ越境関連：2007年末以降の主な出来事

2007-10-31 米国防省筋によると、米国政府はPKK情報収集のため米空軍U2偵察機をトルコ・イラク国境に派遣し、収集した情報をトルコ軍に提供するだろうと述べた。

2007-10-31　　イラクのジバリー外相は、PKK を巡るトルコとの緊張について、トルコ軍の緊急追跡や PKK のトルコ領内への侵入を阻止する為に国境のチェックポイント及び国境管理を拡大する等の対策の実施を検討していることを明らかにした。

2007-11-07　　イラク中央政府は、PKK が越境してトルコを攻撃するのを阻止するため、2つのイラク軍旅団をトルコ・イラク国境付近に派遣することを約束した。同旅団は、トルコ軍当局と PKK に関する情報を共有する。軍事筋は、同国境沿いに PKK キャンプが約 35 箇所存在し、PKK はトルコ軍の攻撃を避けるため少人数の集団に分散して居住していると述べた。

2007-11-13　　現地メディアは、数機のトルコ空軍機が北イラクに越境し、複数の PKK 拠点を爆撃したと報じた。イラク側ソースは、トルコ軍ヘリがイラク側の廃村を爆撃したと述べた。トルコ政府及び軍は何も発表していない。

2007-12-16　　国軍参謀本部は、トルコ軍は北イラクのカンディル山にある PKK 拠点に対し戦闘機による包括的な攻撃を行った、戦闘機は数時間後に無事帰還し、その後北イラクに対し陸軍による砲撃が行われた、との声明を発表した。チチェキ副首相は、今回の攻撃目標は PKK であり、攻撃は成功した、今後も必要に応じて攻撃が続けられると述べた。

2007-12-17　　現地メディアは、16 日のトルコ軍による北イラクへの作戦に関し、トルコ軍筋が今回の攻撃で PKK の指揮系統の 75-80% が破壊され、今回の作戦目的は北イラクの PKK 各司令部と通信システムの破壊である旨述べたと報じた。

2007-12-17　　イラクの外務省は、トルコ軍によるイラクのクルド地域に対する空爆に抗議し、かかる行為を停止するよう要請。トルコ軍の攻撃はスレイマニヤ県の複数の村に対して行われ、女性 1 人死亡、市民 4 人が負傷した他、診療所、学校、橋に被害が出たとされた。

2007-12-17　　16 日のトルコ軍による北イラクへの軍事作戦に関し、米国のケーシー国務省報道官は、米国は今後も引き続きトルコ及びイラク政府と協力して必要な措置をとると述べ、ホワイトマン国防省報道官は、米国は北イラクの PKK 拠点に関してトルコに情報を提供したと述べた。EU のナギー拡大担当委員報道官は、トルコの自国民を守る必要性が理解するが、トルコに対話による解決を促す努力を続けると述べた。国連の事務総長報道官は、PKK にトルコへのテロ活動を中止するよう促す、トルコの北イラク攻撃には懸念をもって見守っている、トルコとイラク政府がテロとの戦いで協力するよう求めると述べた。

2007-12-18　　クルド地方政府のバルザーニ大統領は、トルコ軍による越境作戦に抗議し、イラクを訪問したライス米国務長官との会談を拒否した。

2007-12-20　　エルドアン首相は、トルコ軍による越境作戦の成功に謝意を表明し、トルコは北イラクに潜伏する PKK との戦いで重要な段階にきていると述べた。トプタン国会議長は、トルコ軍は必要な限り同様の作戦を続行すると述べ、シャーヒン法相はゲリラに対し改めて投降を呼びかけた。

2007-12-25 トルコ軍参謀本部は、今月の対北イラク越境作戦で 200 以上のゲリラ拠点を攻撃し、数百人のゲリラを殺害、16 日の作戦だけで 175 人のゲリラを殺害したとの声明を発表した。

2008-02-21 トルコ軍 (22 日) は、イラク北部への PKK 討伐作戦を開始したと発表。規模は 3000 人-1 万人。

2008-02-22 ホワイトハウス報道官は、トルコ軍の北イラク越境攻撃について、事前に連絡があったことを認め、トルコ軍が短期で作戦を終えることを望むと述べた。国連の潘事務総長は、トルコ軍に最大限の自制を要請。

2008-02-24 トルコ軍は、イラク北部の作戦で PKK 活動家 112 人を殺害と発表。PKK は、トルコ軍兵士 47 人を殺害、ヘリコプターを撃墜したと発表。

2008-02-26 イラク政府は、越境攻撃しているトルコ軍の即時撤退を要求。

2008-02-26 トルコ軍は、越境攻撃で PKK 活動家 77 人を殺害したと発表。22 日からの総計 230 人 (トルコ側発表)。エルドアン首相はダブル特使をイラクに派遣、ゼバリ外相と会談させた。同特使は、攻撃は PKK 拠点壊滅のため期限をつけずに行うとした。

2008-02-27 ゲーツ米国防省は、トルコ軍の北イラクの PKK 攻撃は 1 週間、あるいは 2 週間以上続いてはいけないと述べた。トルコ側 (Ahmet Davutoglu) は軍の撤退にはタイムテーブルなど存在しないと述べた。

2008-02-28 ブッシュ大統領は、ホワイトハウスでの記者会見で、イラク北部のトルコ軍について速やかに撤退するよう要請。

2008-02-29 トルコ軍は、イラク北部への越境作戦が終了したと発表、部隊も撤退したとした。

2008-03-04 イラク国境関係者によると、4 日深夜、トルコ軍機が国境に近い Amadiya 地域の村を空爆した。

2008-03-05 イラク筋は、トルコ軍が北イラクの PKK 拠点を空爆したと発表。トルコ側は否定も肯定もせず。

2008-03-05 トルコ軍は、イラク北部への越境攻撃について、バイカル共和人民党党首が作戦は不十分であると批判し、バフチェリ MHP 党党首が、軍はテロリストをゲリラ扱いしたなどと批判したことについて、不当で次元の低い批判であると反論。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799